

令和7年度第1号(58号)

岩手県立江刺病院広報

はばたき

福利厚生広報・図書委員会
令和7年5月

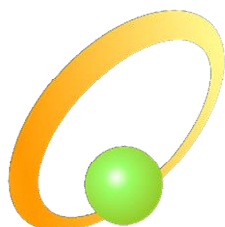
【基本理念】

私たち職員は、県営医療の根幹である「県民に平等な医療の恩恵を」の精神を受け継ぎ、患者さんに「誠実と医学で支える良質な医療」を提供し、地域の人々に愛される病院づくりを進めます。



～ 新任のごあいさつ ～

新緑の季節となりました。五月晴れが続かない日々ですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
4月から新しく着任しました事務局長及び総看護師長を紹介いたします。



事務局長あいさつ

事務局長 稲田 敦夫



今年度4月より事務局長に着任いたしました稲田と申します。

当院は、昭和10年に購買利用組合江刺病院として設立され、昭和25年に県営へ移管し、本年で創立90年となりました。当時の医療施設の開設に尽力された方々、そしてこれまで病院の維持・発展に貢献された先人たちの苦勞と努力に深く敬意を表します。

私自身、当院での勤務は初めてですが、これまでの経験を活かし、病院運営の安定と発展に尽力してまいります。

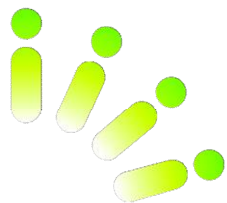
現在、医療を取り巻く環境は大きく変化しております。少子高齢化の進行に伴い、労働生産人口は減少する一方で、高齢者の割合が増加し、特に一人暮らしの高齢者も増えている状況です。さらに、医療資源の偏在や診療報酬制度の影響により、病院経営・運営はますます厳しさを増しております。

そうした中、今年度は県立病院として新たな経営計画を策定し、迎える初年度となります。この計画は、今後の病院運営の方向性に大きく影響を与える、極めて重要なものです。

こうした状況下で、当院が担う地域包括ケアシステムの役割は年々大きくなっています。急性期から回復期、さらには在宅医療へと、地域の皆さまとの連携を深めながら、必要な医療を提供できるよう努めてまいります。

皆さまには、当院の活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





総看護師長あいさつ

総看護師長 吉川 真喜

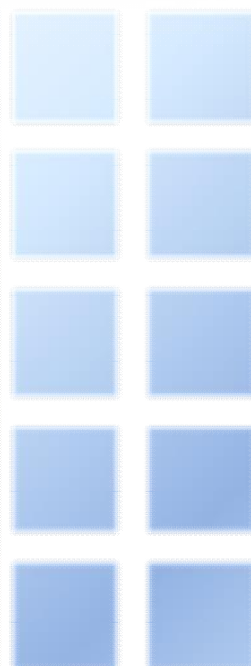
4月から江刺病院へ異動となりました、総看護師長の吉川です。出身は一関市です。

県立病院の異動で、1度だけ県北に行きましたが他はずっと両磐圏域で勤務していたため自宅からの通勤でした。今回、数十年ぶりに一人暮らしをはじめました。江刺に住み始め、とても住みやすく暮らしやすい町だと感じています。これからいろいろ探索していきたいと思っています。

岩手県医療局の経営が厳しい中、人口減少がより加速し患者確保も困難を極めています。そのような環境の中でも、江刺病院は地域に必要とされる病院として、看護科理念である「いのちに向き合い人としての尊厳を支える看護を提供します」のもと、患者・家族が安心して地域で暮らすことができるよう支援し、選ばれる病院づくりをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



写真2人は看護部長と
医療安全管理専門
員です。



送別会

今年も江刺病院をより向上・発展させるべくご尽力されたスタッフとのお別れの会を開催しました。(T_T)/~~~



病棟の縮小等により、
職員数が16名減少
することになりました。
(ノノ)シクシク...

3月19日、令和6年度の送別会を開催しました。

皆様には多くのことをご指導いただき、成長することができました。皆様の益々のご活躍を応援いたします。

大変お疲れ様でした。



お別れはつらいですが、残ったスタッフ一同、これからも力を合わせて江刺病院を盛り上げていきたいと思います。

ありがとうございました！！

